

さすらいの画家

斎藤真一

赫に秘めた想い

平成28年

9月8日(木)～11月6日(日)

◆開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

会期中無休

◆観覧料 一般 600円(450円) 学生 400円(300円)

高校生以下無料

※団体割引 20名以上の場合は()内の団体料金

※シニア割引 70歳以上の方は540円(他の割引との併用は不可)

※障害者手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料

※障害者手帳をお持ちの方、学生の方、シニア割引を受けられる方は

証明書等を御提示ください。

主催 秋田県立美術館

秋田県立美術館指定管理者 公益財団法人平野政吉美術財団

協力 後援 ABS 秋田放送

秋田市、秋田市教育委員会、秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、

毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、河北新報社、

NHK秋田放送局、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、

エフエム秋田、CNA秋田ケーブルテレビ、秋田経済新聞

特別協力 ギャラリー朱雀院、公益財団法人出羽桜美術館、斎藤裕重

秋田県立美術館

〒010-0001 秋田市中通1丁目4-2

秋田県立美術館指定管理者 公益財団法人平野政吉美術財団

TEL 018(853)8686 FAX 018(836)0877

さすらいの画家

斎藤真一

あか
赫に秘めた想い

斎藤真一は、盲目の女性旅芸人を描き、漂泊者の哀しみを見つめた画家です。

1959年から1年間に、フランスに留学した斎藤は、ヨーロッパをさすらい、その街角や人の暮ら
しに触れ、自らの遠く懐かしい記憶を甦らせました。パリでは、若い頃から憧れていた藤田嗣治の
アトリエを訪れ、「帰ったら秋田や東北がよいから生懸命描きなさい」と勧められます。帰国後、
その勧めどおり東北を巡り、「瞽女」の存在を知ります。その後、越後瞽女の足跡を辿りなが
ら、瞽女たちの喜びや孤独、哀感を描き続けました。瞽女の哀しみ、ひいては人間の根源的な
哀しみを表現した「赫」は、人々の心を捉え、高く評価されています。

斎藤は、絵筆をとるかたわら文筆家としての才能を発揮し、越後瞽女についての随筆や明
治の古原で遊女だった養祖母のものがたりは、映画や舞台などで上演されました。

本展では、瞽女や明治の古原、さすらいをテーマにした作品に斎藤の言葉を添えて、漂泊者
の果てしない孤独と画家の寂寥の想いが響き合う世界にいきないます。



越後瞽女日記 お春瞽女物語り《赫い陽の道》1978年（公財）出羽桜美術館 蔵



越後瞽女日記《紅い陽の村》1993年（公財）出羽桜美術館 蔵



さすらい(ライムライト) 1964-92年（公財）出羽桜美術館蔵



《赤い月》1962年 ギャラリー朱雀院蔵



親しく言葉を交わす藤田嗣治と斎藤真一
1959年パリ、藤田嗣治アトリエにて 撮影：斎藤真一

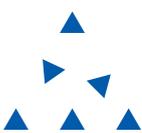
関連イベント

トークショー「父・斎藤真一を語る」 講師 斎藤裕重

9月25日(日) 午後2時～午後3時30分 場所/1階レクチャールーム
参加料/無料 定員/40名 参加方法/電話でお申し込みください。

学芸員によるギャラリートーク

9月17日(土) 午後2時～午後3時 10月15日(土) 午後2時～午後3時
※事前申込不要。観覧券または年間パスポートが必要です。



平野政吉コレクション
秋田県立美術館
AKITA MUSEUM OF ART

〒010-0001 秋田県秋田市中通一丁目4-2
TEL 018-853-8686 FAX 018-836-0877
<http://www.akita-museum-of-art.jp>

交通アクセス

【鉄道(JR)】

秋田新幹線/東京～秋田間 3時間37分(最速)
秋田駅西口/タクシー 2分、徒歩 10分

【航空機】

羽田～秋田 1時間、空港リムジンバス 約40分
木内前バス停下車

【自動車】

秋田自動車道・秋田中央I.C.から秋田駅東口方向へ15分
秋田中央道路(地下道)に入り、中央街区ランプから出て左隣



エリアなかいち駐車場(有料500台 24時間営業)